

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2023年 2月 9日

事業所名:ハーモニークロック

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準に定められたスペースを確保できています。	概ね”はい”との回答をいただいています。	・これからの整理整頓を心掛け、安全な動線を確保し、お子様たちがのびのびと過ごせるような環境構成に努めて参ります。
	2	職員の適切な配置	・教員免許、保育士、養護教諭、児童指導員、音大講師を配置しています。	ご提出者全員”はい”との回答をいただいています。	・今後も利用者に応じたスキルを持つ職員が一人ひとりの心に寄り添える関わりを持って行って行きたいと思えます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・目的ごとに、部屋(プレイルーム、勉強室)が別れており、本棚やおもちゃ置き場は常に整頓して特性に応じた設備になっています。	ご提出者全員”はい”との回答をいただいています。	・個々の能力や特性に応じた環境を整え、より良いものを提供出来るよう努めて行きます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日、各部屋、トイレ掃除、おもちゃ等の除菌や手の触れる場所の除菌清掃を行っています。	ご提出者全員”はい”との回答をいただいています。	・今後も新型コロナウイルスの感染防止対策を含め全職員が衛生面の知識をしっかり身につけるように整えて行って行きます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・職員間でPDCAサイクル情報を共有し、利用者支援の向上と改善に取り組んでいます。		・業務改善を進めるためにPDCAサイクルを意識した管理者と現場職員の話し合いを引き続き行っていきたくと思えます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・現時点では行っていません。		・第三者評価も今後は取り入れていけるよう地域の関係機関とのつづいていくことを目標として行きます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・毎月1回の研修と必要に応じて確保しています。		・外部研修においては、現在、案内があったものみに参加していますが、自ら探したり、開拓して研修参加の回数を増やしていきたいと思っています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ご利用開始前に保護者の方と面接をさせていただき、お子様の様子やニーズなどの聞き取りを行い、アセスメントを作成後、個別支援計画書を作成させていただいています。		・定期的なモニタリングを行い、今後もお子様一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントを元に集団、個別の療育内容や支援を考えお子様一人一人の姿に寄り添える計画を作成しています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・個々の支援だけでなく、日々の集団生活に対する支援の内容を含めた記録を適宜作成し、家庭連携を行います。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・アセスメント、モニタリングを元にてできるだけ具体的な支援目標を立てるようにしています。		・利用者の課題等を周知し、支援を行い記録しています。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・ご家族に同意をいただいた、個別支援計画書を全職員で周知し連携をとりながら療育を行っています。	・概ね”はい”の回答をいただいています。	・モニタリングを実施し、利用者の現状の計画書を作成しています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・毎日ミーティングを行い、活動に偏りが出ないように、意見を出し合っている。		・行事の係り担当や月のプログラム担当の役割分担をしながらスタッフ間の連携体制を整えて向上してまいります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・毎月の予定表にて療育内容や行先を連絡し、連絡帳に記載して、毎日振り返りを行っています。	・概ね”はい”の回答をいただいています	・今後もお子様の願いに寄り添えるようなプログラムの構成に努めてまいります。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・毎日、様々な療育内容を行い、外部の講師も招いています。		・前月には利用者の方には療育内容をお伝えし、外部講師やスタッフが連携して工夫しています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日ミーティングを行い、送迎表や業務日報を確認し、口頭でも注意点、ホワイトボードにて職員配置の確認を行っています。		・業務連絡帳を作成し、小さな事でも記載しています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・翌日のミーティングにて振り返りや気付いた事の情報の共有を行っています。		・業務連絡帳に記載する習慣を大切に、連携の向上を行っています。必要であれば家族や教育関係機関と連携を取っています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・業務日報や専用ノートでご利用者の変化等を記入し、音楽療法での記録も記入しています。		・記録することを継続し、必要に応じて改善しています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画書の見直しを行い、月2回の会議の中でモニタリングを行っています。		・継続して実施して行きます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・例年、協議会等に参加していたが、コロナの影響でリモートや電話での連携を行っています。		・機会が増えれば参加を増やしたいと考えています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現時点ではそのような対象ケースはありません。		・対象者がご利用頂いた際には連携を図って行います。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現時点ではそのような対象ケースはありません。		・対象者がご利用頂いた際には連携を図って行います。
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	・電話や送迎時に連携を取っています。		・連携を継続して行います。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
との連携	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・利用者の保護者と連携を取り、支援内容の確認を行っています。		・保護者の要望を確認し、関係機関と情報共有をします。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・現在行っていません。		・今後機会があれば、参加して行きます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・長期休み中に障害のないお子様を少数招いています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・連携を継続して行きます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現在、コロナ禍の為、当初予定していた老人ホームへの慰問等の行事が一切なくなりました。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・連携を継続して行きます。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に保護者、利用者に説明を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・継続して実施して行きます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・現在はコロナ禍の中なので、電話での対応が多いですが、時期を見て対面にてご説明をさせていただきます。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・継続して実施して行きます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	・区役所と連携をとり行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・今後、実施を行って行きます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日頃より連絡帳や電話にて共通理解の徹底を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・継続して実施して行きます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	・ご相談があれば助言、提案を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・継続して実施して行きます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在はコロナ禍の中なので、個別でしか行っていません。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・現在はコロナ禍の中なので、個別でしか行っていませんが、状況を見て、再開したいと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・迅速に対応しています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・継続して実施して行きます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・毎日ミーティングを行い担当児童を決め、トラブルを未然に防ぐように心がけています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・今後も継続し、個々に応じた情報の伝達を行います。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月予定表を配布し、季節に応じたプランを立てています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・今後も継続して行きます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・鍵付き書庫に入れて管理、職員とも個人情報を保護する確認を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・大切は情報の為、保管には細心の注意を払って行きます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・契約時に保護者、利用者に説明を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・マニュアルについては更に情報収集し、更新して周知して行きます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	・日頃より避難訓練を行っています。	・概ね”はい”との回答をいただいています。	・今後も定期的に実施して行きます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・必ず作っています。		・全職員は研修をしっかりと行い、虐待防止を徹底します。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・現在実施していませんが、必要なケースでは記載します。		・必要な場合は保護者に同意を貰い、外部機関からの意見を聞き記載します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・実施しています。		・保護者との情報共有を徹底し、必要があれば、医療機関と連携をとります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・実施しています。		・ヒヤリハットの作成と職員同士の情報共有を行います。